

ふれあいネットワーク

らんこし 社協だより おもひやり

第142号
令和6年5月1日発行
(春号)



グラウンド・ゴルフ冬季交歓大会
(1月24日/総合体育館)



母子寡婦会紙製募金箱作成
(3月15日/ふれあいプラザ21)



ボランティア交流会
(3月26日/山村開発センター)



臨時評議員会
(3月28日/ふれあいプラザ21)

社会福祉法人 蘭越町社会福祉協議会
〒048-1301
北海道磯谷郡蘭越町蘭越町8番地2
(ふれあいプラザ21内)
TEL: 0136-57-5203
FAX: 0136-57-5993



蘭越町社協ホームページ



<https://www.rankoshi-shakyo.jp>
[PC・携帯でご覧いただけます]

新年度にあたり

社会福祉法人 蘭越町社会福祉協議会 会長 難波 修二

春陽の候、町民の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年度を振り返りますと、私たちの日常生活に大きな影響を与えてきた新型コロナウイルスが第5類に引き下げられて以降、少しずつ日常が取り戻されてきました。しかしながら一定の流行が続いておりましたので、社会福祉協議会の諸活動もマスク等の感染対策を講じながら、多くの関係者やボランティアの皆さんに支えられて新型コロナウイルス前とほぼ同様に開催することができました。ただ不安な方も多く見受けられ、大勢の中への参加を敬遠された方も多く、外出する気持ちがまだ十分ではなかったようにも思われました。

さて当協議会は、今年度から第6期地域福祉実践計画が始まります。蘭越町においては第4次蘭越町地域福祉計画が新たに作成され、町と社協が両輪となって確かな福祉の構築を念頭に、取り組んでまいります。計画は、6年間の予定をしておりますが、3年後に見直して、変化する福祉施策に対応して参りたいと考えております。特に、新型コロナウイルス発生後、外出自粛や人との接触制限がありましたので、これからは地域での身近な交流や見守り・支え合い・生きがいづくり活動に、今まで以上に力を注いで参ります。

また、幅広い福祉支援事業、ボランティア活動などの相互援助事業を推進し、多様化する福祉ニーズに柔軟に対応することに心掛け、地域福祉の中核機関として誰もが安心して暮らせる、ふれあい、たすけあいの地域づくりを目指して事業を展開いたします。

このような環境の変化を踏まえた上で、地域福祉の充実に向け、地域住民や関係団体の方々と連携を図るとともに、新型コロナウイルス感染症対策を充分にとり一つの活動を確認して事業を進めて参ります。

昨年度は計画した事業をほぼ実施することができましたが、今年度も理事会等や町民皆様の意見を伺いながら、町をはじめ関係機関、福

祉団体と連携し、役職員が一丸となって誠心誠意福祉の増進に努めて参る所存です。

終わりに、町民皆様方の引き続きのご指導ご支援をお願い申し上げます。新年度にあたってのご挨拶といたします。

新年度に向けて

蘭越町長 金 秀行

年明け早々、大雪に見舞われたこと蘭越も順調に雪解けが進み、穏やかな春の訪れと共に、南の方から桜のたよりが北上しております。

4月は、学校の新学期や、多くの会社では入社式を迎え、入学、進学、就職等、新たな門出を祝う時期です。

さて、近年の急激な人口減少、少子高齢化社会を迎え行政需要が増大する中、福祉を取り巻く環境は大きく変化しておりますが、地域を、高齢になっても、障がいがあっても、尊厳をもってその人らしく生きることが出来る場とするため、これまでの「支え手」や「受け手」といった関係を超えて、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながる「共生社会」を目指し、個人の「自立」を支える「共助と公助」の充実に努め、互助や共助の推進主体である社会福祉協議会と一層の連携を図り、地域福祉の向上に努めてまいります。

第1次医療の拠点となる蘭越診療所は、町民の皆さんの「いのち」を守り続ける医療機関として、高齢者が住み慣れた地域で安心して必要な医療や介護サービスを受けることができるよう、予防・介護・医療を組み合わせた体制の確立、充実を図ってまいります。

また、厚生病院の第2期整備工事については、JA北海道厚生連より、今年11月のオープンに向けて順調に進んでいると伺っております。

結びに、社会福祉の向上に献身的なご努力をされております、社会福祉協議会の役員・会員・職員の皆さん、各関係団体の皆さんに心から敬意を表しますとともに、蘭越町社会福祉協議会がますます充実発展されますよう心からご祈念いたしましたして、新年度にあたってのご挨拶といたします。

令和6年度事業実施にむけて 基本方針

社会福祉法人蘭越町社会福祉協議会は、これまでの地域福祉活動の実績を踏まえ、一層の地域福祉の推進を目指し、誰もが住みなれた地域で地域の一員として自分らしく暮らせる地域社会づくりを進めるため蘭越町及びその他関係する団体が一丸となって取り組むことが重要であります。

今までの取組や、地域福祉において果たしてきた役割などを整理し、組織体制の強化・充実に努め、公共性・公益性の高い非営利団体としての特性を生かし、広く住民や地域の福祉ニーズの把握に努め、それらのニーズに柔軟に対応してまいります。

今年度の4月から、第4次蘭越町地域福祉計画及び第6期地域福祉実践計画が動き出す強化年と位置づけ、役員や関係機関、団体とともに連携し、この双方の計画が円滑かつ柔軟に推進するよう努めてまいります。

また、在宅して生活される高齢者等の支援を図るため、「夕食弁当支援」「高齢者優待制度事業」「福祉有償運送事業」などの安定的な運営に努めてまいります。

更に、生活サポートセンター及び法人後見受任事業につきましましては、日常生活自立支援事業と併せて、利用者への支援、更なる充実・強化を図り積極的に取り組めます。

蘭越町のボランティア事業については、ボランティア・センターを中心に、地域で活動する人材の発掘・養成に努め、多様な研修や講座の企画とともに、ボランティア組織及び活動者が地域で実践できる場を開拓・提供してまいります。また、災害ボランティアセンターの設置・運営の検証についても、異なる災害、異なる支援の充実について町と調整しながら改善に取り組んでまいります。

更に住民の移動を確保するライドシェア解禁の動向を注視し、ボランティア送迎の可能性について、検討を進めてまいります。

今後も、地域共生社会の実現に向けて、住民の皆さんの声を聞き、ニーズや課題を的確にとらえ、豊かな自然と共に生きることが確かな福祉の構築を念頭におき、町・関係機関などとの協働により地域住民が安心して暮らせる福祉社会を目指し、役員一同努力してまいります。

特に次の4つの項目について重点的に取り組んでまいります。

重点目標

1. 当協議会は、町民・地域団体や組織等との参画と協働を基本として、地域ニーズ（生活課題）への支援の取組や、在宅福祉事業等の生活を支援する取組を展開し、これらを通じて誰もが安全・安心な住み慣れた地域で暮らすことができる福祉社会の実現に向けて、町民の地域福祉活動への支援を進めます。
2. 当協議会は、非営利性の地域活動の中核的民間団体として、低所得者や制度の谷間にある町民の福祉ニーズへの対応・支援に重点を置き、効果的かつ効率的な事業運営に努めます。
3. 当協議会は、活動を積極的にPRするとともに、組織の活性化を図り、情報の共有のもとに地域との協働による福祉活動の充実に努め、生き生きと暮らせる福祉のまちづくりを推進します。
4. 当協議会は、人と人とのつながり、地域と人とのつながり、社会とのつながりとなる事業を行い、住民同士が結びついた地域社会を作り上げる努力をいたします。



令和6年度
法人全体 資金収支当初予算書
(自)令和6年4月1日 (至)令和7年3月31日

法人：社会福祉法人蘭越町社会福祉協議会

(単位:円)

	科目			本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	備考	
	大	中	小					
事業活動による収支	収入	会費収入			1,975,000	1,975,000	0	
		寄附金収入			1,400,000	1,400,000	0	
		経常経費補助金収入			29,987,000	28,506,000	1,481,000	
		受託金収入			2,124,000	1,826,000	298,000	
		貸付事業収入			200,000	200,000	0	
		事業収入			822,000	641,000	181,000	
		受取利息配当金収入			2,000	2,000	0	
		その他の収入			118,000	5,578,000	△ 5,460,000	
	事業活動収入計(1)				36,628,000	40,128,000	△ 3,500,000	①収入計
	支出	人件費支出			22,745,000	41,105,000	△ 18,360,000	
事業費支出			3,135,000	3,007,000	128,000			
事務費支出			6,447,000	5,894,000	553,000			
貸付事業支出			300,000	300,000	0			
共同募金配分金事業費支出			3,577,000	3,321,000	256,000			
助成金支出			342,000	342,000	0			
事業活動支出計(2)				36,546,000	53,969,000	△ 17,423,000	②支出計	
事業活動資金収支差額(1)-(2)=(3)				82,000	△ 13,841,000	13,923,000		
施設整備等	施設整備等による収入計(4)			0	0	0		
	施設整備等による支出計(5)			0	389,000	△ 389,000		
施設整備等資金収支差額(4)-(5)=(6)				0	△ 389,000	389,000		
その他活動による収支	収入	基金積立資産取崩収入			1,332,000	1,500,000	△ 168,000	○収入計
		積立資産取崩収入			0	14,240,000	△ 14,240,000	○収入計
		サービス区分間繰入金収入			4,387,000	4,158,000	229,000	
	その他活動による収入計(7)				5,719,000	19,898,000	△ 14,179,000	
	支出	基金積立資産支出			0	150,000	△ 150,000	●支出計
		積立資産支出			1,354,000	1,300,000	54,000	●支出計
		サービス区分間繰入金支出			4,387,000	4,158,000	229,000	
	その他活動による支出計(8)				5,741,000	5,608,000	133,000	
その他活動資金収支差額(7)-(8)=(9)				△ 22,000	14,290,000	△ 14,312,000		
予備費支出計(10)				60,000	60,000	0	⑩支出計	
当期資金収支差額合計(3)+(6)+(9)-(10)=(11)				0	0	0		
前期末支払資金残高(12)				0	0	0	○収入計	
当期末支払資金残高(11)+(12)=(13)				0	0	0		
収入合計				37,960,000	55,868,000	△ 17,908,000	①○○○	
支出合計				37,960,000	55,868,000	△ 17,908,000	②●●⑩	

※サービス区分間繰入金(4,387,000円)は相殺

令和6年度社協事業の各会計予算

○法人運営事業

単位:円

収入科目	予算額	支出科目	予算額	説明
補助金(町)	23,219,000	人件費	21,301,000	職員8名分
会費	1,975,000	事業費	720,000	車両費・燃料費
寄附金	1,400,000	事務費	4,908,000	事務費・交通費・広報費・貸借料・渉外費・雑費
受託金(道社)	1,689,000	その他活動	2,949,000	退職給付金・繰入金
受取利息	1,000	予備費	60,000	予備費
その他外	78,000			
その他活動	1,232,000			
* 補助金(共募)	344,000			
収入合計	29,938,000	支出合計	29,938,000	その他活動繰入金支出1,661千円含む

○地域福祉事業

収入科目	予算額	支出科目	予算額	説明
補助金(町(事業)	982,000	事業費	1,165,000	除雪・シルバカード・施設訪問外
事業収入	324,000	事務費	259,000	道、後志大会・研修費・会議負担金
補助金(町(共募事)	940,000	共募事業費	3,108,000	歳末運動・福祉スポーツ・室内レク・福祉まつり
補助金(共募)	1,302,000	助成金	222,000	ふれあいネットワーク外
その他活動	1,206,000			
収入合計	4,754,000	支出合計	4,754,000	

○ボランティアセンター事業

収入科目	予算額	支出科目	予算額	説明
補助金(町)	609,000	事業費	581,000	保険料・活動費・ポイント事業・災害対策セット
補助金(共募)	140,000	事務費	34,000	費用弁償
その他活動	455,000	共募事業費	469,000	福祉懇談会・交流会・広報費
		助成金	120,000	学童生徒活動費
収入合計	1,204,000	支出合計	1,204,000	

○成年後見事業

収入科目	予算額	支出科目	予算額	説明
補助金(町)	60,000	事業費	20,000	燃料費
受託金(町)	300,000	事務費	448,000	後見ソフト・業務委託費・研修費・保険料
事業収入	108,000			
収入合計	468,000	支出合計	468,000	

○福祉有償運送事業

収入科目	予算額	支出科目	予算額	説明
補助金(町)	2,391,000	人件費	1,444,000	職員3名
事業収入	390,000	事業費	522,000	燃料費・車両経費
その他外	40,000	事務費	789,000	保険料・車両リース料
		その他活動	66,000	退職給付金3名
収入合計	2,821,000	支出合計	2,821,000	

○受託事業

収入科目	予算額	支出科目	予算額	説明
受託金(町)	105,000	事業費	127,000	移送・電話・訪問理美・福祉サービス利用
受託金(道社)	30,000	事務費	8,000	事務費
収入合計	135,000	支出合計	135,000	

○愛情銀行事業

収入科目	予算額	支出科目	予算額	説明
貸付事業	200,000	貸付事業費	300,000	貸付金1名5万円以内
受取利息	1,000	事務費	1,000	事務費
その他活動	100,000			
収入合計	301,000	支出合計	301,000	

収支39,621千円－法人運営事業その他活動収支サービス区分間繰入金支出1,661千円＝37,960千円

令和6年度の主な事業の紹介

重点事業

- ・ 社協第6期地域福祉実践計画の取組（1年目）
- ・ 「子ども110番の家」としての支援（町教育委員会が町内82施設を指定）
- ・ 高齢者生活支援事業買い物支援事業の拡充
- ・ 有償ボランティア団体「J & B倶楽部」との協力

検討事業

- ・ 送迎サービス事業の検討
- ・ 社協におけるBCP(事業継続計画)の検討

※事業等の詳しい内容については
蘭越町社会福祉協議会（57-5203）までお問い合わせください。

日常生活自立支援事業のご案内

北海道地域福祉生活支援センターの実施する「日常生活自立支援事業」（福祉サービス利用援助事業）では、福祉サービスの利用の手続きや、生活費の管理、年金証書などの大切な書類の預かりをお手伝いしています。

○ご利用いただけるのは、高齢や障がいにより日常生活の判断に不安のある在宅で生活している方、在宅で生活する予定の方です。（例えば、福祉サービスの利用手続きや生活費の管理が一人では難しいと思う方など）

○サービスを直接提供するのには、各市町村ごとに登録されている「生活支援員」です。

○1回（1時間程度）の利用で、利用料金1,200円と生活支援員の交通費実費をいただきます。

〔生活保護を受けている方は、公費で補助されるので無料です〕
書類等の預かりで金融機関の貸金庫などを利用する場合は、費用の実費をいただきます。



各種申請に必要な顔写真撮影支援事業

マイナンバーカード等の申請をする65歳以上の方を対象に顔写真を無料で撮影いたします。

町内会が主体で行う葬祭協力事業

日頃から社会福祉協議会に深いご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

蘭越町社会福祉協議会では、町内会が行っております葬儀のお手伝いいたします。

限られた職員での対応、また限られた時間での対応となりますが、社協賛助会員加入町内会に少しでも協力して参りたいと思います。

※蘭越町社会福祉協議会 57-5203 までご連絡ください。

～ 高齢者等生活支援事業～

蘭越町に在住する 65 歳以上の高齢者が自立した日常生活を送ることができるよう支援することを目的として、買物支援事業と夕食弁当支援事業を行っています。

この事業は蘭越町からの補助金により、高齢者が安心して暮らすことが出来るまちづくり、自立した日常生活を送ることが出来るよう、平成 21 年 11 月から生活支援員を社会福祉協議会に設置し、蘭越町及び蘭越町社会福祉協議会が共同で取り組んでいる事業です。

(1) 買物支援事業 (無料)

○事業内容 日常生活に必要な買物への送迎

○事業の対象者

- ・ 高齢者のみの世帯であって、自宅から商店までの距離が遠く車を運転できない者、又は距離が近くても電動カート、シルバーカー、杖等の利用者とする
- ・ 家族が日中不在となる高齢者 (例 家族と同居し、家族が日中仕事に行っている)
- ・ 家族が運転することができない高齢者 (例 家族と同居し、家族は運転できない)
- ・ 障害支援区分 1 から 6 までの判定を受け障害者サービス計画書を作成した者



(2) 夕食弁当支援事業

○事業内容 月 2 ～ 3 回、居宅へ訪問し栄養のバランスのとれた食事の提供を行うと共に安否確認を行う事業

○事業の対象者

- ・ 単身世帯の高齢者
- ・ 障害者支援区分 1 から 6 までの判定を受け障害者サービス計画書を作成した者

○お弁当代 1 食 300 円 (A マート蘭越店及び街の茶屋の幕の内弁当)

※ご希望の方には、おかずのみの弁当もお届けしています

※お弁当代は、希望に応じて 1 ～ 6 ヶ月ごとに請求させていただきます

○配食時間 14 時～



実施月	社協夕食弁当配食予定
令和 6 年 4 月	2 日 (火) ・ 16 日 (火) ・ 30 日 (火)
5 月	7 日 (火) ・ 21 日 (火)
6 月	4 日 (火) ・ 18 日 (火)
7 月	2 日 (火) ・ 16 日 (火) ・ 30 日 (火)
8 月	6 日 (火) ・ 20 日 (火)
9 月	3 日 (火) ・ 17 日 (火)
10 月	1 日 (火) ・ 15 日 (火) ・ 29 日 (火)
11 月	12 日 (火) ・ 26 日 (火)
12 月	10 日 (火) ・ 24 日 (火)
令和 7 年 1 月	14 日 (火) ・ 28 日 (火)
2 月	12 日 (水) ・ 25 日 (火)
3 月	11 日 (火) ・ 25 日 (火)

※詳しくは、蘭越町社会福祉協議会 57-5203

高齢者生活支援員 畑下、福祉係 佐々木までご連絡ください。

社協フラッシュ

各種大会の成績

第18回蘭越町グラウンド・ゴルフ冬季交歓大会（1月24日・総合体育館）

優勝：伊藤嘉則 準優勝：笠井静江 3位：古館久美子
4位：脇山悦子 5位：北山和子

第24回町民スポーツゲートボール大会（1月30日・総合体育館）

優勝：脇山主将チーム 準優勝：松田主将チーム

第32回冬季ゲートボール大会（1月30日・総合体育館）

優勝：板谷主将チーム 準優勝：松田主将チーム

第24回老人クラブスポーツ交流会（2月21日・総合体育館）

男性の部 1位：中川俊則 2位：田村文俊 3位：土井信夫
女性の部 1位：武石百合子 2位：木村澄枝 3位：脇山悦子



町民スポーツゲートボール大会・冬季ゲートボール大会



老人クラブスポーツ交流会

～表彰～

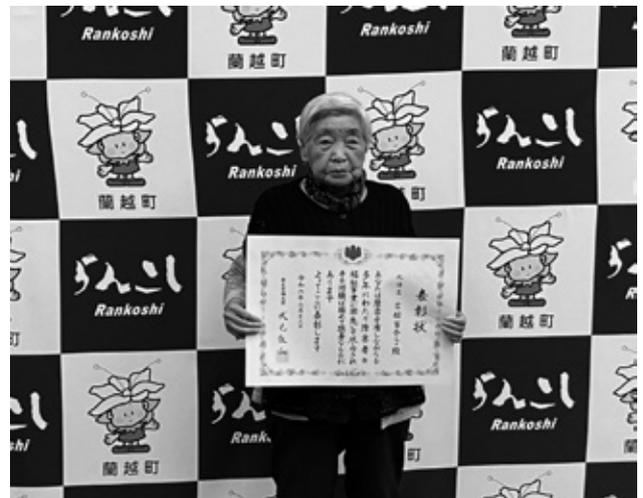
令和5年度厚生労働大臣賞を受賞

蘭越町身体障害者福祉協会の古館百合子理事（字大谷）が、協会役員として永年にわたり会の運営に尽力し、蘭越町の障がい者福祉の増進に多大に貢献された功績が称えられ、厚生労働大臣賞（更生援護功労者）を受賞され、3月25日、金町長より表彰状が伝達されました。

※役員歴

監事 平成13年～

理事 平成21年～



赤い羽根共同募金紙製募金箱のご協力をお願いします

赤い羽根共同募金紙製募金箱が 4 月 15 日以降行政協力員様から各ご家庭へお届けされる予定となっております。

募金箱が台紙で届けられているご家庭は、組み立ててご利用ください。

回収につきましては 11 月 1 日を予定しておりますのでご支援ご協力をお願いいたします。

※令和 5 年度実績	募金額	436,953 円
	募金箱配付数	1,905 箱
	募金箱回収数	1,340 箱



～令和 6 年度一般賛助金納入のお願い～

令和 6 年度の社協一般賛助金の納入依頼を、4 月 15 日付けで行政協力員さん宛てにお願いしております。(1 世帯 700 円以上)

今年度も福祉事業の一層の推進をはかるため、町民皆様方の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

～特別賛助会員を募集しています～

社会福祉協議会は、私たちが住む地域社会の中で抱えている様々な福祉問題を明らかにして、地域のみinnで考え、話し合い、協力して解決することを目的としています。

令和 6 年度の事業の充実を図るため、特別賛助会員を募集しておりますので、多くの町民の皆様のご協力をお願いいたします。

〔特別賛助会員〕 団体・個人 1 口 3 千円・5 千円・1 万円

令和 6 年能登半島地震災害義援金のご報告と受付について

令和 6 年 1 月の能登半島地震の発生以来、蘭越町共同募金委員会では、被災された方々の支援を目的に義援金の募集を行ってまいりました。

ご協力いただきました皆さまに心から厚く感謝申し上げます。

お寄せいただきました義援金は以下の通りです。

義援金総額：305,007 円 (令和 6 年 4 月 15 日現在)

皆様からお寄せいただいた義援金は、北海道共同募金会を通じて中央募金募金会へ送金され、被災県に設置される配分委員会において配分額を決定し、被災者へ配分されます。

なお、令和 6 年能登半島地震災害義援金の受付を引き続き行っております。

皆さまの温かいご支援をよろしく申し上げます。

受付期間：令和 6 年 12 月 27 日 (金) まで

【受付・お問い合わせ先】

蘭越町共同募金委員会事務局

蘭越町蘭越町 8 番地 2 ふれあいプラザ 2 1

蘭越町社会福祉協議会内 57-5203

～こころの健康相談～

俱知安保健所では、こどもからお年寄りまで、こころの健康について専門医や保健師が相談に応じています。

○こんなことはありませんか？

- ・やる気がでない ・仕事に行けない ・人間関係に悩んでいる
- ・不眠が続く ・物忘れが多くなった ・物を盗られた
- ・お酒のせいで課程や仕事に支障をきたす ・お酒をやめられない
- ・過食や拒食 ・家庭内暴力 ・不登校 ・ひきこもり ・性のこと ・心と体のこと
- ・「死」について考えてしまう
- ・頭のけがや手術をした後、性格が変わってしまった、人付き合いが難しい（高次脳機能障害）
など

○日 程 令和6年 5月28日(火)・7月25日(木)・9月27日(金)
11月28日(木)

令和7年 1月23日(木)・3月6日(木)

☆こころの健康相談は予約制です。相談日の3日前までにご連絡をお願いいたします。

☆都合により相談日時が変更になる場合がありますので、

詳しくは保健所までお問い合わせください。

○お問い合わせ先

俱知安保健所 健康推進課 健康支援係
0136-23-1957



主な社協事業

3月	2月	1月
6日	31日	16日
2日	29日	冬休み子どもと高齢者のグラウンド・ゴルフ交流会
1日	28日	第6期地域福祉実践計画策定委員会
蘭越富岡地区地域福祉懇談会	27日	蘭越中学校赤い羽根共同募金持参
らんこし東地区福祉のつどい	26日	グラウンド・ゴルフ冬季交歓大会・
市民後見人フォローアップ研修会	21日	母子寡婦会・身障協会合同新年会
(京極町)	20日	町民スポーツゲートボール大会及び
	19日	冬季ゲートボール大会
	18日	高齢者事業団新年会
	14日	高校生除雪ボランティア活動
	8日	蘭越小6年生紙製募金箱作成
	6日	社協定例監査
	2日	日常生活自立支援事業不正防止
		オンデマンド研修
		三和地区地域福祉懇談会
		社協正副会長会議
		老人クラブスポーツ交流会
		目名地区地域福祉懇談会
		田下地区地域福祉懇談会
		第6期地域福祉実践計画策定委員会
		大谷地区地域福祉懇談会

蘭越町社会福祉協議会福祉推進員の 変更・追加随時受付しています

各町内会に福祉推進員 1 名の設置をお願いしております。
 新年度を迎え、町内会で福祉推進員の交代がありましたらご連絡をお願いします。
 最も身近な町内会に福祉推進員をおくことで、民生委員と連携強化をはかり、福祉情報がいち早く社協や行政に届くと共に、福祉情報を発信できる体制の確保をはかるために、町内会に福祉推進員 1 名の設置をお願いしております。

青い鳥郵便葉書の無償配付

日本郵便（郵便局）では「青い鳥郵便葉書」を無償配布しています。
 「青い鳥郵便葉書」は、青い鳥をデザインしたオリジナル封筒に通常はがき 20 枚を封入したものです。
 身体障がい者及び知的障がい者の福祉に対する国民の理解と認識をさらに深めることを目的として社会貢献のための取り組みの一つとして継続しています。
 〔お問い合わせ〕 蘭越町内郵便局
 〔期間〕 4 月 1 日から 5 月 31 日まで
 〔対象者〕 身体障害者手帳 1 級または 2 級
 知的障がい者療育手帳 A または 1 度もしくは 2 度の表記がある方

高齢者の状況（65 歳以上）

	令和 5 年度 3 月 31 日現在	令和 6 年度 3 月 29 日現在
男性	774 名	761 名
女性	1,009 名	992 名
合計	1,783 名	1,753 名
割合	41.0%	40.8%



共同募金

この社協だよりは赤い羽根
共同募金の配分金で印刷
されています。

蘭越町社会福祉協議会職員紹介

職名	氏名
事務局長（再任用）	中 田 潤 一
総務係長兼福祉係長	日 野 一 也
総務係主任兼福祉係主任	佐々木 脩 太
臨時職員	向 山 美 穂
高齢者生活支援員	畑 下 力
高齢者生活支援員兼 福祉有償運送運転手	田 端 雅 彦
高齢者生活支援員兼 福祉有償運送運転手	淀 谷 融
高齢者生活支援員兼 福祉有償運送運転手	山 口 誠 治

- | | | | | | | | | | | |
|-------------|-----------|-------------|-------------|--------------|--------------------|------------|--------------|-------------|-------------|----------------|
| 28
日 | 26
日 | 25
日 | 22
日 | 21
日 | 19
日 | 15
日 | 13
日 | 11
日 | 8
日 | 7
日 |
| 第 3 回臨時評議員会 | ボランティア交流会 | 老人クラブ連合会理事会 | 除雪ヘルパー宅お礼訪問 | 身体障害者福祉協会役員会 | 第 6 期地域福祉実践計画策定委員会 | 第 5 回定時理事会 | 母子寡婦会紙製募金箱作成 | 名駒地区地域福祉懇談会 | 昆布地区地域福祉懇談会 | 蘭越小学校作成紙製募金箱贈呈 |

社会福祉事業に対する善意の御寄附ありがとうございます

社会福祉事業資金として、次の方から御寄附をいただきました。皆様のあたたかい善意に対し、心から感謝申し上げます。

寄附月日	住 所	寄附者名・団体名	寄 附 内 容
1月22日	名駒町	三 浦 正 人 様	香典返しの一部として
2月 5日	蘭越町	蘭越町グラウンド・ゴルフ愛好会 会 長 伊 藤 嘉 則 様	社会福祉資金として
2月13日	蘭越町	蘭越町環境衛生会 副会長 山 岡 誠 一 様	社会福祉資金として
3月 5日	蘭越町	東 秋 雄 様	香典返しの一部として
3月11日	字豊国	藤 原 信 也 様	香典返しの一部として
3月13日	俱知安町	横 井 清 様	香典返しの一部として
3月14日	蘭越町	氣 田 義 三 様	香典返しの一部として

(令和6年1月11日～令和6年3月31日までの期間)

フォトギャラリー 融雪散布 〔蘭越町 丸山政義さん 3月20日撮影〕



豪雪地帯のニセコ山麓にも春よ来い(恋)です。
1日も早く田畑の雪を融かそうと朝早くから融雪散布で運転手も真っ黒になりながら頑張っています。
※撮影した写真をらんこし社協だよりおもいやりに掲載したい方がおりましたら社協 日野までご連絡ください。(電話 57-5203)